

【元】日本代表が語る 自分流子育て

10月27日 松本大北地域出産・子育て公開講座



出産と子育てを学ぶ講座がスイス村サンモリッツで開かれ、親子連れや出産を控えた家族が元サッカー日本女子代表・丸山桂里奈さんらの話に聞き入っていました。進行は松本山雅FC元選手の片山真人さんが務め、丸山さんは育児での発見や心掛けなどから、子どもと向き合うために「自分にも時間のゆとりが必要。少しでも自分の時間をつくってバランスを取っている」と時折ユーモアを交え語りました。家族で訪れた福澤未来さん(松本市)は「出産前は夫婦の時間を大切にというアドバイスは共感した。おもしろい話ばかりで笑顔になれた」と話してくれました。

【秋】の安曇野でキャンプ！魅力がぎゅっと詰まった2日間

10月26日・27日 安曇野 Outdoor Meeting

親子でキャンプを通じて明科地域の魅力を体験するイベントが天平の森オートキャンプ場で開かれ、市内外の親子9組38人が参加しました。このイベントは現在、市が進めている東部アウトドア基本構想の一つの取り組みとして、参加者から意見を聞くために初開催しました。

参加者たちはダッチオーブンで作ったおやきを食べた後、マイはし作りやシラカバの木に拾った木の実などを自由に飾り付けるクラフトワークショップを通じて安曇野の自然と文化を満喫。信州サーモンやブランド豚といった安曇野産食材を使って夕飯を作り、家族ごとにテントやコテージで味わいました。大里亜沙美さん(38・東京都墨田区)は「盛りだくさんの体験ができて子どもたちもうれしい。また安曇野に訪れたい」と充実した2日間を振り返りました。

**【秋】めくまち ハロウィーンに染まる**

10月26日・27日 安曇野 APPLE HALLOWEEN



旧国鉄篠ノ井線廃線敷・JR明科駅周辺・龍門淵公園がハロウィーン一色に。おばけカボチャが並ぶ廃線敷エリアでは、ハイキングやマルシェで秋の味覚を買い求める人でにぎわいました。明科駅エリアでは仮装しながら多彩なブースでクラフトや物産を楽しみ、龍門淵エリアではワインマルシェでこだわりワインを片手に芝生でくつろぐ参加者の姿が見られました。

廃線敷エリアを訪れた鳥原泰子さん(穂高)は「景色が良くて、子どもとゆっくりできた。甘くておいしいリングが買えて満足」と話し、カボチャの仮装をした結月くん(3)と笑顔を見せてくれました。

【根】菜が変身！ スイーツに舌鼓

10月17日・18日 やさいスイーツフェア合同販売イベント



例年10月に開催されている安曇野やさいスイーツフェア。今年は安曇野産根菜類をテーマ野菜に開催され、このほど市役所で合同販売イベントが行われました。ショーケースには各店舗の力作が勢ぞろいし、商品は両日ともに完売。当日はテイクアウトの他にイートインもあり、各店自慢のスイーツに目を輝かせながら舌鼓を打つ姿が見られました。

両日ともにイートインで商品を提供したあったカフェの山田綾子さんは「多くのお客さんに来場いただき感謝。来年も期待してほしい」と笑顔を見せていました。

【よ】ーいどん！ 大人も子どもも全力疾走

10月13日 第19回豊科さわやか市民運動会



コロナ禍や台風で中止が続いていた豊科地域の市民運動会が6年ぶりに市営県民豊科運動広場で開かれました。さわやかな秋晴れの空のもと、大勢の参加者が大玉送りやパン食い競争などで汗を流し、スポーツの秋を満喫しました。半分に切ったペットボトルにボールを乗せたリレー競技「ペットハンター」では、安定しないボールに苦戦しながらも熱戦が繰り広げられ、器用に運ぶ人に歓声が上がっていました。水をためる速さを競う貯水リレーに参加し首位でゴールした宮澤信貴さん(豊科)は「久しぶりに本気で走って楽しめた。来年も参加したい」と話してくれました。

【五】輪出場選手の思いと重いバーベルを感じる

10月19日 ウエイトリフティングチャレンジDAY！

五輪出場選手がウエイトリフティングの魅力を伝える体験イベント(日本ウエイトリフティング協会主催)が穂高公民館で開かれました。当日は、東京・ロンドン五輪などに出場した八木かなえさん、太田和臣さん、中山陽介さんの3人が競技の面白さを伝えました。また、松商学園高校ウエイトリフティング部の生徒・OBがスタッフとしてイベントに協力。共にトークショーの後の体験会では基本の動作や足を使った反動でバーベルを上げるコツなどを教えながらサポートし、コツをつかんだ参加者は10kgの重りを何度も持ち上げていました。家族で訪れた松浦蒼くん(11・長野市)は「父がやっているのを日頃から見ていてあこがれていた。重かったけど楽しくチャレンジできた」と話してくれました。

